

特別の教育課程編成について（英語活動の実施）

1 岡崎市における小学校第1学年から第4学年での取組

岡崎市では、小学校第1学年から第4学年において「英語活動」の授業を行っています。

小学校第1学年と第2学年では、「生活科」の時間を35（1年生は34）時間を「英語活動」に充てています。小学校第3学年と第4学年では、「総合的な学習の時間」35時間を「英語活動」に充てています。

【資料1】岡崎市の教育課程（基本案） ※令和3年度版

区 分	各 教 科										特別の教科 道徳	特別活動	総合的な学習の時間	外国語活動 + 英語活動	総授業時数
	国語	社会	算数	理科	生活	音楽	図画工作	家庭	体育	外国語					
第1学年	306		136		68	68	68		102		34	34		0+34	850
第2学年	315		175		70	70	70		105		35	35		0+35	910
第3学年	245	70	175	90		60	60		105		35	35	35	35+35	980
第4学年	245	90	175	105		60	60		105		35	35	35	35+35	1015
第5学年	175	100	175	105		50	50	60	90	70	35	35	70		1015
第6学年	175	105	175	105		50	50	55	90	70	35	35	70		1015

各学年における「英語活動」では、毎日10分の帯時間に岡崎市小学英語研究委員会の自作DVD『OK English(約8分のDVD)』を視聴することで、週1コマの授業時間としています。DVDの内容は、英語の歌、フォニックス、リズムに合わせてネイティブスピーカーの後に単語や文を発音する活動、実際に動作をしながら学級の中で他の児童と会話をする活動など多岐にわたります。各学年の発達段階を考慮しながら、学級担任とともにDVDを繰り返し視聴することで、英語の音や基本的な表現に慣れ親しんでいます。

【資料2】OK English



2 本校の取組

藤川小学校では、毎日12時10分から12時20分を「英語活動」の時間としています。児童は、『OK English』のDVDを視聴して、チャンツなどの発音練習を繰り返したり、歌や踊りを楽しんだりして、英語に親しむことができます。具体的な場を設定して会話の練習に取り組んでいるので、子供たちは、登場人物になりきって会話を楽しんでいます。

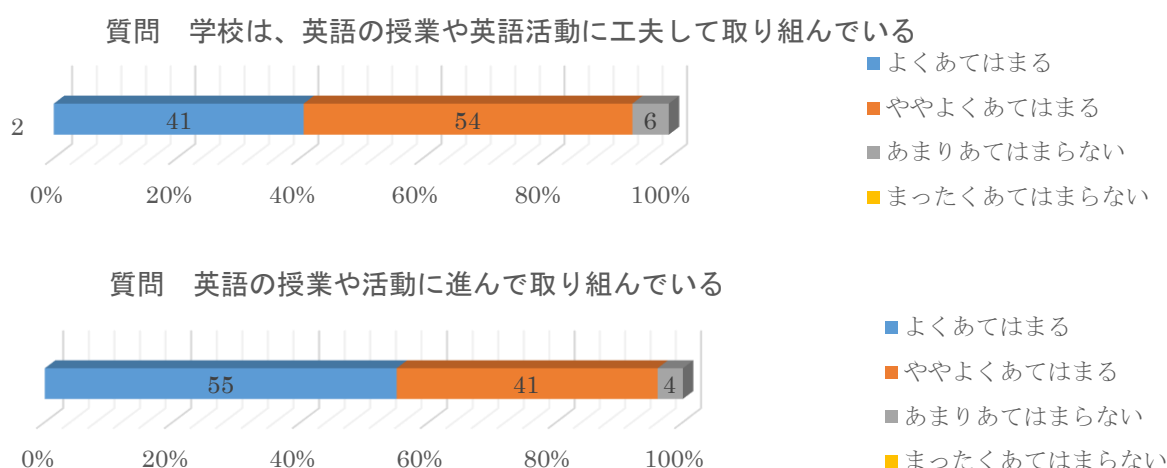
3 成果

学校教育診断では、「学校は、英語の授業や英語活動に工夫して取り組んでいる」という質問に対し、95%の保護者が「よくあてはまる」「ややよくあてはまる」と回答がありました。「英語の授業や活動に進んで取り組んでいる」という児童への質問でも「よくあてはまる」「ややよくあてはまる」との回答が96%を占めました。



このことから、児童は「英語活動」を楽しんでいることが伺えます。そして、保護者もそうとらえていることが分かりました。英語の意味や内容がはっきりわからない場面があっても、映像などからその意味を汲み取りながら楽しく活動しているのではないかと推測できます。

【資料3】学校教育診断の結果



4 学校関係者の声

学校関係者には、楽しそうに英語を発音したりジェスチャーしたりして、英語に触れている児童の様子を伝えることができました。保護者向けのアンケートでは、「先生は、子供の能力や意欲を大切に、認めてくれる」という質問に「よくあてはまる」「ややよくあてはまる」の回答が97%でした。また、「子供は授業が分かりやすいと言っている」という質問では「よくあてはまる」「ややよくあてはまる」の回答が86%でした。各教科の学習と合わせて、楽しそうに英語に触れている児童の姿を、喜んでいただけているのではないかと感じることができました。

5 まとめ

資料3から、児童は日々のDVD視聴を楽しんでいることが伺えます。また、英語活動を通じて英語で話されている内容を概ね理解することができていることもわかりました。

今後は、高学年の外国語科の学習につなげられるように、英語活動を楽しませながら、内容の理解も深めていくことが課題です。